

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称				実施主体				
中区区民フェスタ事業				中区ふれあい事業推進委員会（中区区民フェスタ実行委員会）				
事業目的		事業内容		活動指標		R4	R5	R6
中区の住民や、区域内で働く人々の親睦交流、連帯を深め、健康の大切さや防犯、交通安全等への意識高揚を図り、それによって区民が健康で安全安心に暮らすことのできる地域社会の実現を図ることを目的とする。		原池公園会場では、多様な世代が共に楽しむことができる催しものとしてステージ発表やブース出展、フリーマーケットや総踊り等を実施。 ソフィア・堺会場では、陶芸作品の即売会やこども向けの紙芝居、ちぎり絵のワークショップ等の多彩な催しものを開催。		来場者数		41,000	40,000	40,000
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性		
◎	本事業は、自治連合会をはじめとする地域団体と行政が共催することで、地域連携の強化と円滑な運営を実現している。これにより、区民同士の交流促進、健康の維持・増進、防犯意識の向上など、多方面にわたる効果が期待されるため、事業の実施の妥当性は非常に高い。	◎	本事業は、自治連合会を中心に行政機関や民間団体など多様な主体が連携・協働し、企画から運営まで地域と行政が一体となって実施しており、協働の度合いは非常に高い。	◎	本事業は、中区最大規模の催しであり、地域の特色を活かした多彩な内容で展開されている。中区の魅力を広く発信でき、外部へのPR効果も期待できるインパクトの強い事業である。	◎	本事業は、地域からの負担金や協賛金により公金以外の収入を確保し、地域の人材を活用することで経費削減を図っている。令和4年度には「中区安全安心まちづくりフェスティバル」と統合し、集客力の向上と関係者の負担軽減を実現するなど、効率的に事業を運営している。	
⑤自立発展性		総合評価						
△	本事業は行政との連携・協働を前提としており、多様な関係団体との調整や運営面で行政の関与が不可欠であるため、現時点での自立発展性は低い。	◎	本事業は、地域と行政の共催による中区最大規模の催しであり、多様な主体の協働により実施されている。区民の交流促進に加え、健康増進や防犯等への意識向上、中区の魅力発信にもつながっており、地域の活性化にも寄与する取組である。それらを踏まえ、総合的に見て事業効果は非常に高い。					
今後の方向性（課題、改善提案等）								
拡充 継続 見直し 廃止	今後は、安全性の確保を念頭に、限られた予算の中で事業効果の向上を図るため、地域と協議しながら内容の充実に努める。また、令和9年度に完成予定の水質池公園への開催場所の変更についても、検討を進める必要がある。							